

## 鈴鹿山系・雨乞岳

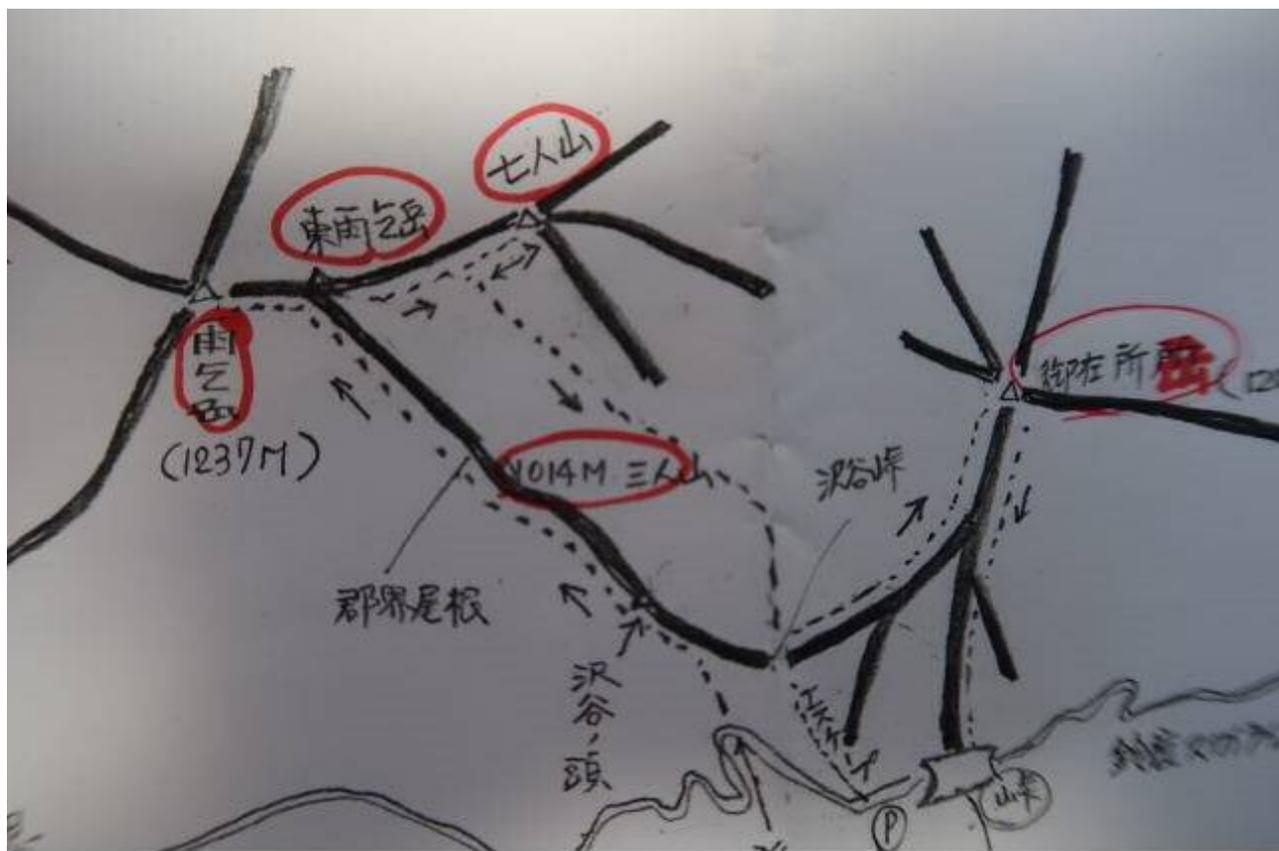
2016年11月20日(日) 曇り

メンバー：磯部N(記)、手塚、久保田J

紅葉には遅いけれど、冬枯れの山歩きも良いな—と思い、滋賀県の雨乞岳（1207m）に出かけた。

私の故郷に近い山なので、もちろん何度か登っているのだけど、今回はみんなが行くルートではなく、新しいルートを歩いてみた。

数年前から、かつては無かった郡界尾根コースを歩く人が増えて、テープもついているというので（三重の知人より）、地図で確認しながら歩いてみた。



概念図

前夜は鈴鹿スカイライン脇のトイレがある駐車場にテントを張ったが、夜中に飛ばし屋の車やらバイクが何台もそばを通過していくので、そのたびに起こされた、というかほとんど眠れなかった。この辺りへ来るときはいつも仮眠場所に悩む。

当日の天気予報は“晴れのお出かけ日和”のはずだったが、いっこうに晴れ間は見えず薄曇りの中出発する。（鈴鹿は日本海側の天候と似ている。）

登山道はテープは有るが、看板はほとんど無く、地図で現在位置を確認しながら歩くので、早々に分岐を間違えてロスタイムが生じた。



冬枯れの郡界尾根コース

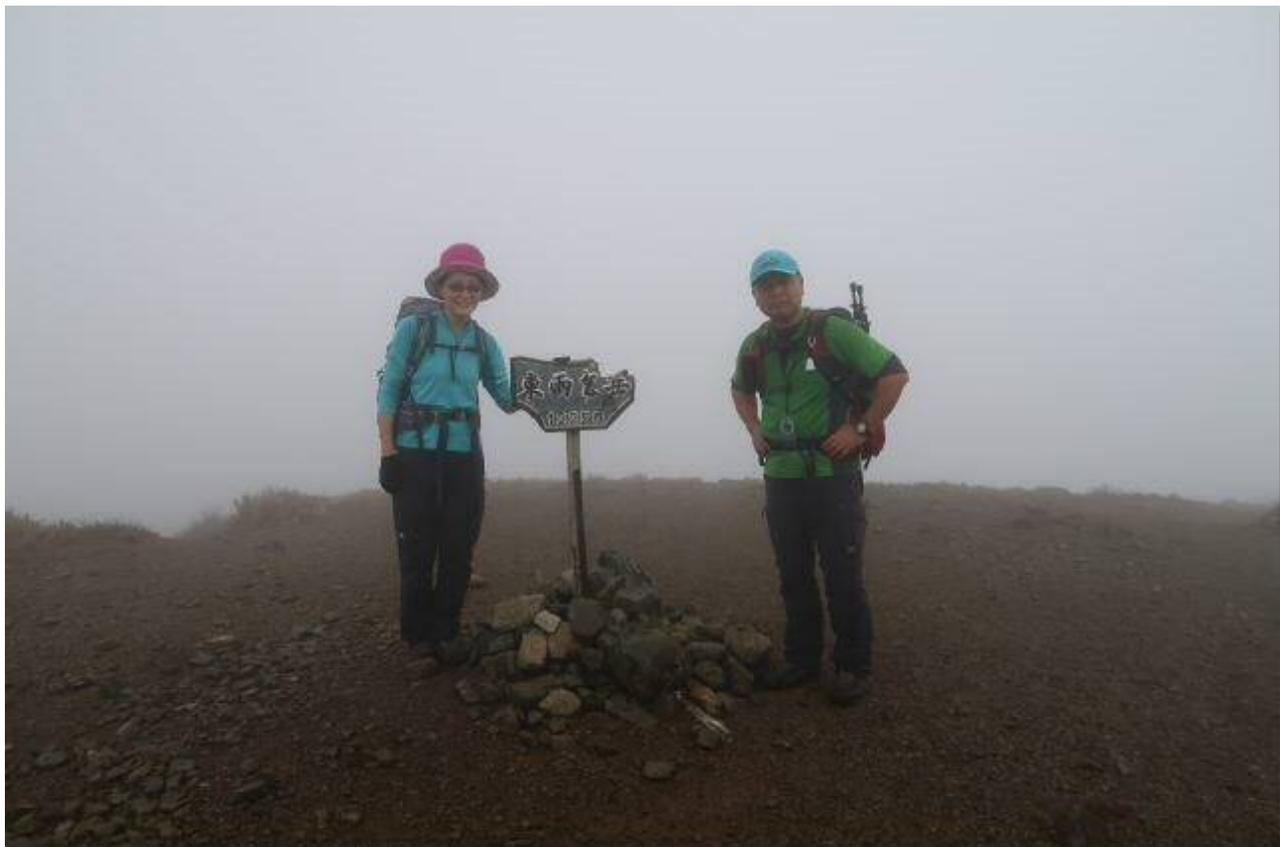
郡界尾根コースは下部を除いて、ほとんど雑木林の中なので歩くのにも気持ちが良い。本来ならスカイラインや鎌ヶ岳が見えるはずだったが、この日は天気は悪化傾向。ガスがどんどん増してきた。



ガスの中、標高差200mの上りが東雨乞山頂まで続く



あまりにも鮮やかなニシキギの赤い実



東雨乞岳・ただただガスの中

東雨乞岳を經由して雨乞岳（1207m）まで往復した。本来なら、きれいな笹原が続いて、周りの山が一望できるお気に入りのコースなのだけど、残念ながら周りはずべてガス・ガス・ガス。それでも、この悪天候の中、登山者が次々に登ってくるのに驚いた。

下山道は一般コースを選択してクラ谷沿いに歩いた。相変わらず、天気は回復しないままだったが、落葉もきれいで、渡渉も何度か有り、静かで変化もある大好きな道だった。



クラ谷に沿って続く落ち葉の道



倒木の多いクラ谷

途中で、一昨年雪の中で敗退した七人山の頂上を踏んだ。



ブナとナラの林立する七人山



色彩の無い季節にもコケは元気！



何と！駐車場はどこもいっぱい

予定していた御在所岳への道は、正式なコースではないので踏み跡が薄く、雨も降りだしそうで中止にした。案の定、駐車場につく手前で雨が降り出した。

駐車場は、朝、2台しか無かった車が満車以上になっていて、驚いた。滋賀県側だけで無く、三重県側も車がびっしり。路上駐車はかなり厳しく取り締まっていると聞くので、御在所岳近くは、朝、6時にはほぼ駐車場が埋まるらしい。

天気は悪かったが、尾根と谷、両方を歩き面白いコースだった。春には、イワウチワやシャクナゲのプロムナードが楽しめそうな登山道だった。

<タイム>

武平峠（滋賀県側）駐車場(6:50)－登山口(7:00)－一服峠(7:29)－三人山－東雨乞岳(9:30)－雨乞岳(9:45)－七人山(10:45)－下山口(13:30)－駐車場P(13:38)

以上